

第3回(仮称)あおもりICT利活用推進プラン検討委員会議事録(サマリー版)

日時 平成30年11月27日(火)
13:00~15:00
場所 Gravity CO-WORK
(グラビティ・コ・ワーク)

1 開会

- ・ 出席者9名(欠席者2名)
- ・ タブレットを使用したペーパーレス会議として開催

2 議事

○ (仮称)あおもりICT利活用推進プラン(素案)について

- ・ 議事の冒頭、事務局より「資料1」から「資料4」に基づき説明した。
- ・ 各委員からの主な意見は以下のとおり。
 - ・ 最近、高齢者の自動車免許証返納が問題になっている。高齢者による巻き込み事故が増えており、安全運転の可視化が必要になってくるのではないかと。
 - ・ シェアリングエコノミーは非常に大事である。子育てやボランティア活動などで大いに活用できるのではないかと。
 - ・ シェアリングエコノミーは新しいコミュニティづくりにつながるのではないかと。
 - ・ キャッシュレスの普及に当たっては、消費税増税時の5%のポイント還元に触れると訴求効果を高めるのではないかと。
 - ・ キャッシュレスは、インターネットによる宿泊など使う人と使わない人との間で資産のギャップが出てくるのではないかと。
 - ・ インバウンド対応では、プリペイドカードに入金するための両替機の設置など外国人の利便性を高める工夫も必要になってくるのではないかと。
 - ・ バス運行のダイヤ改正などで活用が期待できるため、行政主導によるバス運行データの積極的な公開が必要ではないかと。
 - ・ 子育てに関する記述で、テレワークはイメージが持ちやすいが、シェアリングエコノミーは関連性が薄いのではないかと。
 - ・ 「eスポーツ」の取組は人財育成と合わないのではないかと。
 - ・ 重点目標の指標について、人財育成に関する講座の開催数とあるが、参加者数の方がよいのではないかと。
 - ・ 業務プロセスの改善に当たっては先が遠いAIよりも手前のRPAを活用するとした方が現実的ではないかと。
 - ・ 人財育成事業として実施している「ユビキタス出前授業」について、職業観を持たせるため、小学生に加えて中学生も対象にしてはどうか。
 - ・ クロスステックやキャッシュレスも重要だが、ITを活用したビジネスを推進するという方向性も取り入れた方がよいのではないかと。
 - ・ 産業分野が観光に偏っているのではないかと。観光に関しては情報発信の記述が多く、DMOといった観光経営組織を活用するなどマーケティング要素を入れた目標とした方がよいのではないかと。

- ・ その他、農業や建設業に従事している委員の事例紹介、ドローン活用に当たっての通信環境の変化などについて情報提供があった。

3 その他

- ・ 第4回検討委員会を12月下旬から1月上旬に開催する方向で日程調整することとした。

4 閉会

－以上－